



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

# 東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2012 年(平成 24 年)9 月 26 日(水)  
第 1095 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

## ●本日の司会

(岡野 景子副SAA)



## ●開会点鐘

(柴田 康好会長)

## ●ロータリーソング「我らの生業」斉唱

## ●本日のお客様



米山奨学生 金太月さん

## ●会務報告

(柴田 康好会長)



本日の例会終了後、第 4 回理事会を開催いたします。

10 月 4 日(木) ガバナー公式訪問合同例会が開催されますので、全員出席をお願いいたします。

## ●幹事報告

(荒川 義昭幹事)



9 月 25 日(火) 第 10 回 R 財団研究会Ⅱに小島地区 R 財団補助金委員に参加をしていただきました。

本日、第 1 回地区新会員オリエンテーションに指田会員、志賀会員と共に参加をさせていただきました。ガバナー事務所にも見学に行き、目の前でガバナーとも懇談をさせていただきました。

非常に有意義な会であったと思います。

## 新会員オリエンテーションについての感想



### 志賀会員

大変有意義な時間を過ごさせていただきました。米山記念奨学会のことなども教えていただき、また、今までのロータリーの歴史の資料などもたくさんあり勉強になりました。皆さんも機会があれば行ってみると良いと思いました。

### 指田会員

今日は講習という形でロータリーの歴史などを教えていただき、ロータリーの国際性や伝統の重さなどを学び、まだまだ勉強しなければならないと感じました。

## ●卓話「米山月間について」

前澤 外喜男 地区米山記念奨学会増進委員長



財団は、ロータリー財団、米山、青少年交換留学が 3 本の柱になっているのですが、米山事業だけが日本独特のもので、これは、米山梅吉さんという方が日本にロータリーを持ってきて 55 年経つのですが、米山さんが亡くなった時に、戦後の世界との架け橋を作りたいと願って、東京 RC が「米山基金」の募金を開始したのが始まりです。

現在までの米山の卒業生は 1 万 7 千名です。世界平和の人づくりということで、お金が無くてなかなか勉強が捗らない大学生の中で、教授の推薦のあった優秀な学生を選んでロータリーで支援しています。地区では 35 名、日本全国では 800 名の奨学生が毎年おりましたが、寄付金が少なくなってきたということで今年は 700 名になりました。

年間の予算は 14 億 5 千万くらいです。1 地区にしますと、8 千万円くらいです。この金額は寄付だけで成り立っているものです。しかし、不況と倒産などでロータリーの会員が激減しているなかで、寄付金が集まらず、6 千 5

百万円から7千万円止まりというのが実情です。

米山記念奨学金には2種類あり、ひとつは学部課程の学生に月額10万円、もうひとつは修士・博士課程の学生に月額14万円を、最長2年間支給するものです。これにより、留学生が学業に専念することが出来るのです。

日本に来ている留学生は、中国、韓国、台湾で全体の75%を占めます。これは受験生のパーセンテージから選考委員会が割合を出すのですが、最近の中国、韓国の政治問題から割合を下げるという意見もあります。そのようなことも考慮して留学生は120ヶ国から来ております。

なぜ、米山奨学事業をやるのか端的に言いますと、米山でお世話になった人同士が集まって同じロータリークラブを作って欲しいからです。現実に日本で自分が社長になってやっていらっしゃる方がたくさんいます。日本国内では米山OBのクラブが30クラブ出来ています。中国ではロータリークラブを作る事が出来ないで、友好会という名称でクラブが出来ています。東京にも友愛クラブやEクラブなどが出来ております。

中国や韓国からはたくさんの大学生が日本に来ております。彼らは親から、日本は大変良い国であると教えられています。なぜかと言うと、日本で良い技術などを習ってきて欲しいからだそうです。彼らはまず日本語学校へ通って、ある程度習得をしたら日本へやってきます。日本語は難しく、相当ネックになるようですが日本語試験をパスした優秀な学生達がやってきます。

学友で2人目の駐日韓国大使のクオン Chol Hyon さんや中国米山学友会を設立した有名な弁護士であるキグンさんなども世界で活躍して、日本に大変恩義を感じ、感謝の意を表しています。彼らのように奨学生が社会で成功して、我々の同志になってくれればそれでいいのだと私は思います。どうか皆さんもご理解の程、よろしくお願い致します。

金太月さんより一言

毎回例会に参加するたびに思うのですが、大学などで忙しくてストレスで疲れた顔でこちらに来てても、皆さんはいつも温かい笑顔で迎えて下さって私には本当に力になっています。

今年は私にとって重要な1年だと思いました。今は修士2年なので、今学期からは修士論文の為に全力を尽くさなければならないのですが、皆さんのご支援があったからこそ学業に全力を尽くせることと思います。

いつも皆さんには感謝の気持ちで一杯です。これからも学生としては勉強を頑張っ、卒業後には社会人として日本と中国の架け橋となって皆さんに恩返しをしたいと思ひます。

## ●ニコニコBOX発表 (石岡 孝光親睦委員)

・荒川幹事  
前澤委員長、金さん、本日は、卓話よろしくお願ひいたします。

・小島会員  
前澤委員長、本日は、ありがとうございます。金さん、半年が経ちました。あと半年、頑張っ、て学業に専念してください。

・佐藤会員  
所用により早退させていただきます。前澤委員長ありがとうございます。

・蜂巣会員  
前澤様、本日はありがとうございます。金様、日中友好、日本人の気持ちを母国に伝えてください。

## ●出席報告 (鈴木 栄出席委員長)



会員数	46名	出席義務会員	44名
本日の出席	30名(メイクによる出席者数を除く)		

## ●委員会報告 (石岡 孝光社会奉仕委員長)



早いものでくじら祭から1ヶ月以上が経ちました。3月くらいから実行委員会や説明会に参加し、最初は大変な事を引き受けてしまったと後悔したこともありましたが、何度も集まりを重ねて、準備や企画をすることに段々責任感が芽生えて、やるのならば必ず成功させたいとの思いが強くなりました。当日は2日間大きな事故もトラブルも無く過ごす事が出来ました。皆さんのご協力ありがとうございました。

## ●次週例会予定 (工藤 開光プログラム委員長)

10月4日(木) 佐久間ガバナー公式訪問  
昭島RC合同例会

## ●閉会点鐘 (柴田 康好会長)